



若き日のバッハ

対談：加藤浩子 VS 三澤洋史

(音楽評論家) (東京バロック・スコラーズ音楽監督)



これを聞けば演奏会が100倍楽しくなる！

バッハの若き日を辿っていくと、楽聖と扱われているバッハとは別な様々な逸話に出遭う。アルンシュタットのオルガニスト時代、「お前のファゴットは年取った山羊のようだ。」と言って流血騒ぎになった話や、オルガンの名手ブクステフーデの演奏を聴きに休暇願を出してリュベックまで行ったきり戻って来ず、さらに帰ってきたかと思ったら賛美歌の伴奏にブクステフーデ風即興演奏を取り入れ、いつまでも演奏して会衆をあきれさせ、とうとう聖職会議にかけられるなど、まさに傍若無人、若気の至り満載！

しかし一方で、有名なシュヴァイツァー博士は、彼の22歳頃のカンタータを絶賛し、こう語っている。「バッハが初期のカンタータであるように巨匠的な境地に到達した芸術的富を、後年突然放棄したということがどうしてあり得ようか？ バッハの200のカンタータを、初期の方法で書かれた100のカンタータと取り替えても惜しくない。」このように「若き日のバッハ」はあなどれない。

今回の講演会では、今をときめく音楽評論家の加藤浩子さんを迎え、三澤洋史との対談形式でバッハの若き日の様子とその作風を描き出していく。後半の「三澤洋史の爆弾対談」では一体何が飛び出すやら！？

加藤 浩子氏 プロフィール

慶應義塾大学大学院修了。同大学講師(音楽学)。
著書：『バッハへの旅』(東京書籍)、『さわりで覚えるバッハの名曲 25選』(中経出版)、
『バッハからの贈りもの～鈴木 雅明氏との対談』、『モーツァルト 愛の名曲20選』、『オペラ 愛の名曲 20+4選』(いずれも春秋社)他多数 その他、新聞・雑誌への寄稿、プログラム・CD解説等多数。

講演会場 JR川崎駅 下車徒歩3分
京急川崎駅 下車徒歩8分



講演会 2008年 4月12日(土) 18:30 開演

■ 場所

ミューザ川崎 音楽工房 市民交流室

■ 料金

1,000円 **予約制・全席自由**

(e-メール・電話にて、事務局宛にご予約をお願いします)

■ お話

加藤浩子 音楽評論家
三澤洋史 新国立歌劇場合唱団指揮者
東京バロック・スコラーズ音楽監督

第3回演奏会「若き日のバッハ」と同時お買い上げは
合計 4,000円

第3回演奏会 2008年 5月25日(日) 14:00 開演 テーマ：若き日のバッハ

■ 場所

杉並公会堂大ホール

■ 指揮とお話

三澤 洋史

■ 管弦楽

東京バロック・スコラーズ・アンサンブル

■ 曲目

J.S.Bach
カンタータ106番
カンタータ 4番 他

■ ソリスト

飯田 みち代 (Sop)
佐々木 昌子 (Alt)
大島 博 (Ten)
大森 一英 (Bass)

■ 合唱

東京バロック・スコラーズ

■ 料金

3,500円 全席自由

申し込み・お問い合わせ

東京バロック・スコラーズ事務局
電話：090-6034-2138

HP: <http://misawa-de-bach.com>
Mail: tbs-concert@misawa-de-bach.com